

# 平成27年度「福島県学力調査」結果について 《中学校第2学年》

福島県教育委員会

## 1 調査趣旨

全県的な規模で児童生徒の学習の実現状況を調査し、学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにし、各学校等における改善の取組に資するとともに、学習習慣や生活習慣及び意識等と学力との関連性を分析し、学校を中核としながら地域や保護者と連携して学力向上に取り組む基盤づくりを図る。

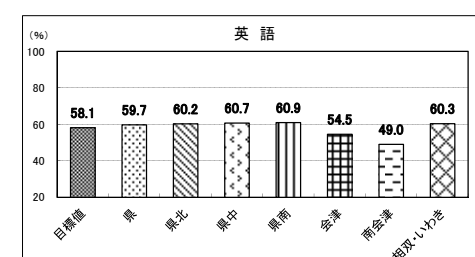
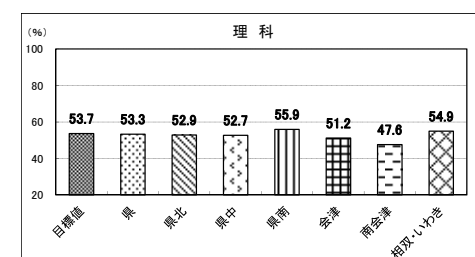
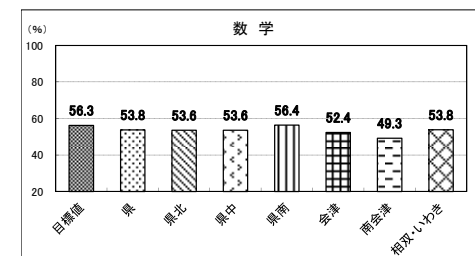
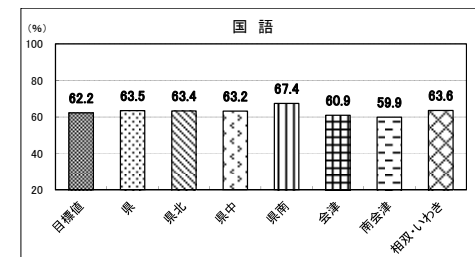
## 2 実施日程

平成27年11月9日(月)～13日(金)

## 3 受検人数及び調査時間(中2)

【受検人数】				
国語	数学	理科	英語	意識
17,044	17,047	17,048	17,048	17,066
【調査時間】				
50分	50分	50分	50分	30分程度

## 4 生活圏別教科平均正答率



## 5 結果の概要

※目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した生徒の割合。

### 1) 国語

#### ①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	63.5	62.2

教科全体の平均正答率は63.5%で、目標値を1.3ポイント上回っている。

#### ②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	63.5	62.2
	知識	66.2	63.2
	活用	60.9	61.3
領域	話すこと・聞くこと	61.8	60.0
	書くこと	56.8	70.0
	読むこと	67.8	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	63.5	60.4
	国語への関心・意欲・態度	57.2	70.0
観点	話す・聞く能力	60.4	58.2
	書く能力	54.1	64.0
	読む能力	66.4	61.9
	言語についての知識・理解・技能	63.2	60.8

領域別平均正答率では、三つの領域が目標値を1.8～5.3ポイント上回っているが、「書くこと」は13.2ポイント下回っている。観点別平均正答率では、「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」が目標値を下回っている。

### 4) 英語

#### ①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	59.7	58.1

教科全体の平均正答率は59.7%で、目標値を1.6ポイント上回っている。

#### ②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	59.7	58.1
	知識	69.5	66.9
	活用	45.1	45.0
領域	聞くこと	71.9	69.5
	読むこと	57.1	57.1
	書くこと	52.8	50.4
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	55.2	54.7
	外国語表現の能力	39.3	40.6
	外国語理解の能力	64.6	61.7
	言語や文化についての知識・理解	63.5	62.5

領域別平均正答率では、「読むこと」が目標値と同率で、他の領域はいずれも2.4ポイント上回っている。観点別平均正答率では、三つの観点は目標値を上回っているが、「外国語表現の能力」は1.3ポイント下回っている。

### 2) 数学

#### ①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	53.8	56.3

教科全体の平均正答率は53.8%で、目標値を2.5ポイント下回っている。

#### ②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	53.8	56.3
	知識	61.3	61.8
	活用	35.1	42.5
領域	数と式	57.3	56.4
	図形	54.7	62.5
	関数	58.1	58.6
	資料の活用	41.9	49.2
観点	数学への関心・意欲・態度	42.1	46.0
	数学的な見方や考え方	47.6	48.1
	数学的な技能	56.5	59.6
	数量や図形などについての知識・理解	52.6	56.3

領域別平均正答率では、「数と式」が目標値を上回っているが、他の領域は目標値を下回っている。特に「図形」「資料の活用」は7ポイント以上下回っている。観点別平均正答率では、すべての観点が目標値を0.5～3.9ポイント下回っている。

### 3) 理科

#### ①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	53.3	53.7

教科全体の平均正答率は53.3%で、目標値を0.4ポイント下回っている。

#### ②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	53.3	53.7
	知識	57.6	57.8
	活用	44.5	45.0
領域	生命	62.1	55.6
	粒子	54.7	52.5
	エネルギー	46.9	49.3
	地球	47.3	56.9
観点	自然事象への関心・意欲・態度	48.1	50.4
	科学的な思考・表現	48.2	48.5
	観察・実験の技能	62.6	56.4
	自然事象についての知識・理解	56.2	57.8

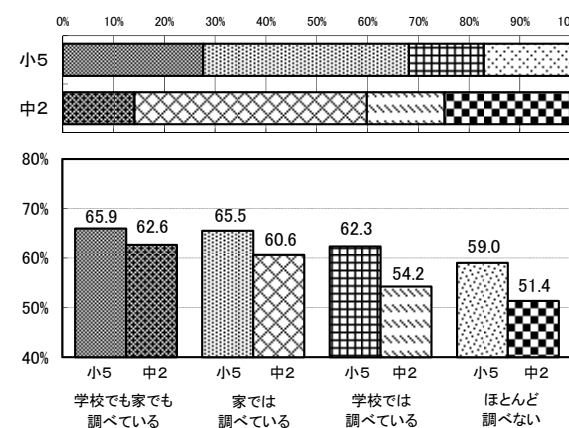
領域別平均正答率では、「生命」が目標値を6.5ポイント上回っているが、「地球」は目標値を9.6ポイント下回っている。観点別平均正答率では、「観察・実験の技能」が目標値を6.2ポイント上回っているが、他の観点は目標値を下回っている。

## 5) 意識調査

※①～④の4項目については、裏面に記載。

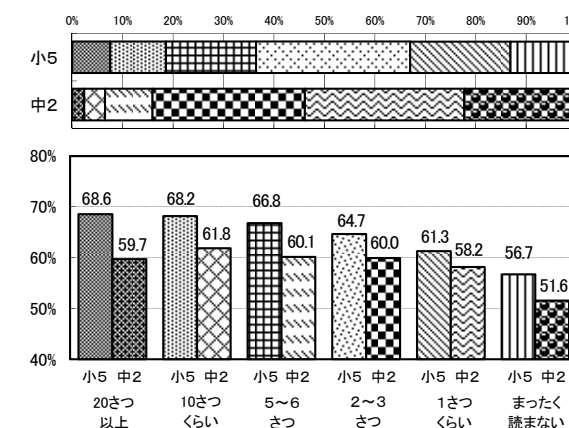
※帯グラフは各選択肢の割合。縦棒グラフは各選択肢を選んだ集団ごとの全教科の平均正答率(小：3教科、中：4教科)。

### ⑤「分からない言葉が出てきたときは、辞典などを引いて調べていますか(電子辞書をふくみます)」



辞典の使用について、「学校でも家でも調べている」「家では調べている」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「学校でも家でも調べている」と「ほとんど調べない」との差は、小学校で6.9ポイント、中学校で11.2ポイントである。

### ⑥「1か月に何さつくらい本を読みますか(※マンガやざっしはのぞきます)」



読書の習慣について、1か月の読書冊数が多い児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「20さつ以上」と「まったく読まない」との差は、小学校で11.9ポイント、中学校で8.1ポイントである。

①～⑤の「とてもうれしかったことがある」「かならず役立つ」「よく発言する」「ある」「学校でも家でも調べている」と肯定的に回答している児童生徒や、⑥の1か月の読書冊数が多い児童生徒ほど、平均正答率が高いことが分かる。一方で、否定的に回答している児童生徒や、読書冊数が少ない児童生徒ほど、平均正答率が低いことが分かる。